

農業振興公社だより

発行と印刷

(社)角田市農業振興公社
 〒981-1505 宮城県角田市角田字大坊22
 電話 (0224) 632328
 FAX (0224) 611521
 URL <http://www.kakunou.or.jp/> E-mail kakuda@kakunou.or.jp

角田の田畑が学びの場 あぶくま農学校「土の塾」



八月十九日から二十二日までの四日間、あぶくま農学校土の塾を開講しました。

土の塾は、新規就農希望者と農業に興味のある方、農業を体験したい方を対象とした農業体験塾で、今年で四回目となります。県内からは三人が参加し、その他に北は青森県から南は熊本県まで全国から十二人が参加しました。東京都目黒区の方、東京農業大学、鳥取大学、明治大学、法政大学の学生等、十七歳から五十歳代の方で、将来就農したい、定年後に農業をやりたいという方々です。塾生は農業環境改善センターに宿



角田農業戦略プランを析る



泊し、自炊で朝食を作ったり、農村生活研究グループの方から指導を受けながら、ずんだもちを作ったりして四日間を過ごしました。
 カリキュラムは、市内農業施設見学にはじまり、宮城県や角田市の新規就農支援措置や角田市の農業の概要、肥育牛・水稲等の農家見学、現場で実際に農作業を体験する農作業実習等のほか「角田農業戦略プランを斬る」と題した公開講座をオークプラザで開講するなど、盛りだくさんの内容でした。

参加した塾生からは、農業の置かれている厳しい現状がわかった、角田農民の情熱を感じることができた、角田の人たちはパワーがあった等の感想が述べられました。
 今回の土の塾は、より現場の農家に近づくことができるように、初めて農作業実習を取り入れました。塾生は農業体験をしたいという強い思いの人が多く、もっと農作業をしたかったという声も聞かれました。また、都会の人たちは、農家の話を聞いた、質問をしたりする機会がほとんどないため、講座や農家との交流の中で、農家の生の声に触れたことに充実感を感じていたようでした。

最終日に農村環境改善センターで行われた閉校式では、全員に修了証書が手渡され、必修コースが終了しました。
 また二十二日からは、二泊三日で農家へのホームステイが特別コースとして行われ、十一名の方が参加し、市内の農家に宿泊し、農作業を行うなど農家の生活を実際に体験しました。
 来年もたくさんの方が、角田の自然に触れ、角田農業を学んでいたければと思います。